

〈学校教育目標〉 学び合い 支え合い きたえ合う産山の子ども



3つの合い言葉

～「合い」とは仲間との高め合い、集団の中での育ち合い、教育的愛情による導き～

目指す
学校像

- 一人一人が大切にされ、安全で安心できる学校
- 学びに向かう力を高め、仲間とともに学び合える学校
- 子ども・保護者・地域から信頼され、地域を元気にする学校

目指す
学級像

※各担任

目指す
学園生像

- 自立的に生きるための基礎・基本をしっかりと学ぶ子ども
- 人とのつながりを大切にし、自他の生命を大切にする子ども
- 健康で安全な生活を送り、地域を元気にする子ども
- 前向きに粘り強く挑戦し、自分の意思で行動する子ども

目指す
教師像

- 互いに協働し、高め合い、働き方改革を進める教職員
- 子ども主体の学びを意識した授業実践に取り組む教職員
- 子どもや保護者、地域から信頼され、不祥事を起こさない強い信念をもつ教職員

〈経営の基本〉

- 自他の命や人権を大切にする教育
- 五者が連携し、義務教育学校の強みを生かした教育
- 子どもに寄り添い、子どもの事実から学び、子どもの能力を伸ばす教育
- 「ふるさと」を想い、「ふるさと」について理解し、発信する教育



(子ども) 産山で学んでよかった
(保護者) 産山で学ばせてよかった
(教職員) 産山で教えてよかった

〈育成を目指す資質・能力〉 ①シンキング(考え抜く力) ②チームワーク(協働する力) ③チャレンジ(粘り強さ、挑戦力)

学び合いプラン(知)
～学力の充実～

- 1 「熊本の学び」推進プラン及びアクションプロジェクトの推進
- 2 ヒゴタイ国際交流を核とした英語教育の充実
- 3 特別支援教育の充実
- 4 学校情報化、キャリア教育の推進

支え合いプラン(徳)
～命・人権を大切にする心の育成～

- 1 人権尊重を基盤とした人権教育の推進
- 2 心に響く道徳教育の推進
- 3 持続可能な開発のための教育(ESD)を踏まえた環境教育の推進
- 4 うぶやま学などの体験活動の充実
- 5 いじめ、不登校の未然防止
- 6 「凡事徹底」を基にした生徒指導

きたえ合いプラン(体)
～たくましい心と体の育成～

- 1 自己管理能力の育成を目指した健康教育の充実と日常化
- 2 体育授業の充実と部活動の効果的な活用による体力の向上
- 3 食育の推進(給食指導を中心に)
- 4 危機管理能力の育成(安全・安心の意識向上)



〈3つのプランを横断〉 うぶやま学を中心とした「郷育」の推進、SDGsの推進、異文化交流の推進



【強みを生かす】

- ・3つのステージによる9年間を見通した一貫した教育
- ・学園生の素直さ、明るさ、仲の良さ
- ・一人一人の把握や個に応じた指導・支援のしやすさ
- ・家庭、地域、行政の教育活動に対する支援や協力
- ・ICT機器の整備、村からの各種補助等恵まれた教育環境

- ・教科担任制による専門的な学びと円滑な接続

【一歩前へ】

- ・子供たちを学びの主体者にするための授業改善
- ・書く力、読む力の育成
- ・生活習慣の改善、メディアコントロール等自己管理能力の育成



9年間を見通した「つなぐ・つながる」カリキュラム

9年間の系統性のある教育課程の編成

3つのステージ制による段階的な取組

「人と関わりたい」という意欲を育てる交流活動

体験活動を通して地域のよさを感じ、地域に貢献する社会性の育成